

第1回 双葉町復興町民委員会 町民コミュニティ部会 資料

町民コミュニティに係る取組と課題



1. 町民の交流機会の確保

町民コミュニティに係る町の取組 【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

①自治組織の立ち上げ促進

避難先における自治組織の立ち上げを促進します(77) (生活支援課)



[現状]・全国で8団体が活動中
[課題]・自治会の設立促進
・自治組織への加入促進

②町民有志によるNPO法人等の設立

コミュニティづくりに資するNPO法人等の組織設立の側面支援を実施します(78) (復興推進課)



[現状]・復興支援員による現状把握
・近隣町村で「まちづくり会社」が設立
[課題]・その他に設立の動きが無い
・自治会との役割分担を明確化

③行政区・自治会組織の在り方検討

双葉町当時の地域のきずなの維持を図るため、行政区・自治会組織の在り方の検討を進めます。(19)(79)
(総務課)(生活支援課)



[現状]・行政区総会助成金を支給
・自治会の役割の明確化
・自治会長の報償を制度化
[課題]・自治会役員報償に関する検討
・高速道路の無料化継続

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

④町民主体の交流イベント企画に対する支援の仕組み構築

町民主体による交流イベントの企画に対する支援の仕組みを構築します。

(80)

(住民生活課)(産業建設課)

(教育総務課)



取組の現状と課題

[現状]・交流イベント企画支援と補助金等交付
・新双葉町観光協会の設立
・「ダルマ市」への補助
・双葉ふれあいクラブとの連携
・各分野での交流イベント情報の収集と情報提供

[課題]・県外避難者交流会の企画・開催
・スポーツ交流の推進
・ふるさとの祭り開催
・名産品の復活と商品開発

⑤各地で開催される交流イベントの情報提供

各地で開催される交流イベントの情報提供を行います。

(81) (秘書広報課)



[現状]・町公式ホームページ・ICTきずな支援システム(タブレット)にて情報提供
・ソーシャルメディア(フェイスブック等)を活用し、迅速な情報提供
・職員・復興支援員がイベントを取材

[課題]・県外イベント開催の情報収集・取材

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

⑥交流施設の設置

県内外の町民・民間団体による町民の交流拠点の設置を支援します。(83)
(総務課)(生活支援課)

[現状]・県内外へ交流施設を設置
[課題]・交流施設の活用
・復興公営住宅のコミュニティ施設整備

⑦復興公営住宅等の整備とあわせて、集まれる場の設置

復興公営住宅等を双葉町外拠点として町民のコミュニティ拠点として機能できるようにします。(52)(53)(54)(84)
(復興推進課)

[現状]・県・受入自治体・他町村と復興公営住宅の整備にあわせて個別協議中
・勿来地区を拠点の中心と位置付け
[課題]・コミュニティ拠点としての機能要件
・集会所等の活用方法

⑧各種支援のための助成制度のデータベース化と仕組みづくり

コミュニティ支援に関する各種助成制度などをデータベース化し、紹介できる仕組みを構築します。(86) (復興推進課)

[現状]・助成要望に応じて適宜支援制度紹介
[課題]・体系的な整理と情報提供の仕組みの構築
・ホームページや広報誌等で紹介

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

- ア. 町民の交流機会を確保するためには、どのような方策が有効とお考えですか？
- イ. アを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？
- ウ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

2. 町民同士が連絡を取りあうことができる仕組みの構築

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

①電話帳作成について町民ニーズを踏まえ必要性を検討

電話帳の作成について、町民のニーズを調査し、その必要性を検討します。
(88) (生活住民課)

②気軽に連絡できる情報端末(タブレット等)活用の検討

町民同士が気軽に連絡が取れるような情報端末(タブレット端末等)の活用の検討を進めます。(89)(96)
(秘書広報課)

取組の現状と課題

[現状]・避難者名簿作成は見合わせ
・相手先へ提供確認してお知らせ
[課題]・事業の必要性が低下
・オレオレ詐欺等への悪用への危惧
・代替制度の検討

[現状]・ICTきずな支援システムを導入
・運用サポートを実施
・活用の各課横断検討チーム発足
[課題]・タブレット端末費用、システムの保守費用
や通信費等の財政負担
・高齢者等の利用促進
・普及率の向上

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

- エ. 町民同士が連絡を取りあうことができるためには、どのような方策が有効とお考えですか？
- オ. エを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？
- カ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

3. 町からの情報提供の円滑化・充実化

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

①知りたい情報をより多く提供できるように、広報誌等を充実させる
町の情報や町民の活動状況など町民のみなさんが知りたい情報をより多く提供できるように広報誌等を充実させます。
(90) (秘書広報課)

②避難先での町民の活動状況等を提供するふるさと絆通信
広報ふたばにおいて町民のみなさんの避難先での活動状況等取材して掲載します。(91) (秘書広報課)

③町のホームページ構成などわかりやすいものに適宜直す
ニーズにあった情報を迅速にホームページを活用して提供します。また、構成のわかりやすさを追求します。
(92) (秘書広報課)

取組の現状と課題

[現状]・「広報ふたば」「ふたばのわ」の発行
・双葉町公式ホームページのリニューアル
・タブレット端末の活用
[課題]・町民参加型の情報発信の検討

[現状]・広報ふたば内に、「ふるさと絆通信」のコーナーを創設
[課題]・記事内容の充実
・「ふるさと絆通信」の増刊

[現状]・より見やすく、親しみやすく、わかりやすいページ構成
・ソーシャルメディアを活用
[課題]・町民の意見等を踏まえた内容の充実迅速な対応のサイト運営

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

④町のホームページの高度情報化

町のホームページの高度情報化(動画などの映像配信等)を図ります。

(93) (秘書広報課)

⑤WEBカメラによる町内映像をホームページにて提供

WEBカメラによる町内の映像をホームページにおいて提供します。

(94) (秘書広報課)

⑥ソーシャルメディアを活用したコミュニケーションの仕組みを構築

ソーシャルメディアを活用して町民と町との間で双方向のコミュニケーションを可能とする仕組みを構築します。

(95) (秘書広報課)

取組の現状と課題

[現状]・ユーチューブでの動画配信を開始

[課題]・動画配信の周知・内容の充実
・配信の頻度を増加

[現状]・ふたば広域ライブカメラを町内16カ所に設置

[課題]・ライブカメラの継続

[現状]・フェイスブック、ツイッター、ユーチューブを開設し、町公式ホームページがICTきずな支援システムにリンクナンバー等を設置

[課題]・ソーシャルメディアの適正な運用の在り方
迅速かつ適切な情報提供

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

キ. 町民同士が連絡を取りあうことができるためには、どのような方策が有効とお考えですか？

ク. キを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？

ケ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

4. 双葉町の歴史・伝統・文化の記録と継承

町民コミュニティに係る町の取組 【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

①ダルマ市等のふるさと祭りの開催支援

町民主体のダルマ市等のふるさと祭りの開催を支援します。
(99) (産業建設課)



- [現状]・運営グループに補助金を交付
・補助金交付要綱を見直し
・活動の支援を充実
- [課題]・新たな町民グループの参入
・今後のダルマ市の会場の確保
・ダルマ市での交通手段確保

②子ども・若者が歴史・伝統・文化にふれあい、学べる場の支援

子ども・若い世代を含めて、双葉町に歴史・伝統・文化にふれあい、継承するためのイベント(祭り)や教室等の開催を支援します。(103) (教育総務課)



- [現状]・夏祭り等に補助金を交付
・各避難地域で生涯学習事業(生活学級・婦人学級)を実施
- [課題]・イベント支援や生涯学習事業の継続実施
・参加者を増加させるための方策

③歴史・伝統・文化を学ぶ場の確保

子どもたち等が双葉町の歴史・伝統・文化を学ぶ場の確保を検討します。
(105) (教育総務課)



- [現状]・教育ビジョンからカリキュラム化
・歴史・伝統・文化を学ぶ授業を導入
- [課題]・若い世代へ継承する仕組みの構築
・授業への取り入れ
・副読本(教材)の作成

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

④ 定期的な芸能祭の開催

定期的な双葉町芸能祭を開催します。
(106) (教育総務課)



- [現状]・総合美術展・芸能発表会の開催
・避難先住民との交流を確保
・町民の交流の場を提供
- [課題]・継続実施と開催地の拡大
・会員不足と役員の分散

⑤ 各種イベントへの出演機会の確保

交流会、集会等の各種イベントへの出演機会を確保します。
(104)(107) (教育総務課)



- [現状]・県内外のイベント参加
- [課題]・出演機会の確保と避難先との文化
・交流の促進
・遠隔地からの参加
・避難先での交流の在り方
・後継者の育成

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

コ. 歴史・伝統・文化の継承のためには、どのような方策が有効とお考えですか？

サ. キを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？

シ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

5. 避難先住民との交流促進

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

①避難先自治体等と連携し、交流会等の開催を促進

避難先の自治体や支援団体等と連携して双葉町民と避難先住民との交流会等の開催を促進していきます。
(110) (生活支援課)



[現状]・仮設住宅集会場、絆カフェを中心に避難先との交流を実施
[課題]・関係団体との連携のもとでの更なる推進
・交流会開催情報の収集
・復興公営住宅での交流

②イベント(祭りや催事)への町民の積極的参加を促進

避難先のイベント(祭りや催事等)への双葉町民の積極的な参加を促します。
(111) (生活支援課)



[現状]・仮設住宅集会場の掲示板に案内し、参加を促進
[課題]・町民の積極的な参加を促す工夫
周知方法の工夫

③自治組織等が避難先住民と交流する機会への支援

町民の自治組織等が避難先において地域住民と交流する機会の創出を支援します。(112) (生活支援課)



[現状]・各自治組織において、盆踊り・イベントを実施中
・町民交流施設を設置
[課題]・交流の場のニーズを把握
・地域交流イベントへの参加

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

④復興支援員を活用し、地域住民とのコミュニティづくりの人材の確保と育成

復興支援員制度を活用して、双葉町民と地域住民を結びつける新たなコミュニティづくりを担う人材の確保・育成を進めます。

(113) (復興推進課)



取組の現状と課題

- [現状]・復興支援員を県内外へ9名配置
・自治会の事務局機能強化
・情報連携会の開催
- [課題]・交流イベントの実施
・自治組織の立ち上げ支援
・町民の中でのキーパーソン発掘
・地元NPO団体等との連携
・避難先住民との交流方法の検討

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

ス. 避難先住民との交流促進のためには、どのような方策が有効とお考えですか？

セ. キを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？

ソ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

6. 震災・事故の教訓の記録と伝承

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

①記録誌編纂に向けた体制整備と町民協力による記録の収集

震災と原発事故の記録誌の編纂に向けた体制整備を行います。町民の協力を得て震災時及びそれ以降の体験記録を継続的に収集します。

(114) (教育総務課)

[現状]・筑波大学と共同で記録保全を実施
震災に係わる文書等のデジタルデータ化

[課題]・震災と原発事故の記録誌の編纂に向けた実施体制の構築
・デジタルデータ化の作業における実施方法等の検討
・記録の収集

②震災・事故の教訓の展示施設・研究施設の設置を検討

「双葉町外拠点」において、この震災・事故の教訓の展示施設・研修施設の設置を検討します。

(60)(116) (教育総務課)

[現状]・一時保管や展示を実施

[課題]・文化財の紹介場所の確保
・復興公営住宅の集会場等を活用した展示の実施
・復興町内拠点へのアーカイブセンター設置

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

タ. 震災・事故の教訓の記録と伝承のためには、どのような方策が有効とお考えですか？

チ. タを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？

ツ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？

7. 教育環境の確保

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

取組の現状と課題

①町立学校(幼稚園、小学校、中学校)の再開

いわき市錦町へ仮設園舎・仮設校舎を整備し、学校を再開します。

(43) (教育総務課)



[現状]・平成26年4月1日に開校し、同年8月に仮設園舎・校舎等の使用開始
・特色ある学校をPRL受け入れを推進
・少人数の良さを活用した指導と体験学習の充実

・保護者への見学会を実施

[課題]・入園入学者の増加

・保護者(町民)のより深い理解と協力

②町独自の新たな教育方針・教育提供内容を提示

教育ビジョンを策定(更新)し、その実現に向けて取り組みます。また、特色ある教育環境を充実させるための取り組みを実施します。

(44) (教育総務課)



[現状]・教育ビジョンを基本とした学校運営
・様々な特色ある教育環境の提供

・町の歴史・伝統・文化を学ぶ取組

[課題]・新たな学校の特色づくり

・学習会や行事への参加者の増加

・地域人材の確保と有効活用

町民コミュニティに係る町の取組
【復興まちづくり計画(実施計画)との対応入り】

③子どもたちの「つどいの場」の提供(集まれ！ふたばっ子)

子どもたちのきずな維持、学習支援、伝統文化継承、心のケアできる「集いの場」を提供します。

(50) (教育総務課)



取組の現状と課題

- [現状]・「集まれ！ふたばっ子」を開催
・保護者同士の交流機会を創出
- [課題]・「集まれ！ふたばっ子」の日程・場所
・対象者の決定方法と内容
・双葉町に対する思いの維持・向上

あなたはどうお考えですか？(ご議論いただきたい点)

テ. よりよい教育環境を確保するためには、どのような方策が有効とお考えですか？

ト. テを踏まえ、新規実施、拡充、または長期継続が必要な事業はどのようなものですか？

ナ. 現状の課題解決のため、行政が取り組むべきことは何だと思えますか？